

年 組 名前：

科学分野 突出した人材発掘

山梨大は9月にも、小中学生を対象に科学技術分野で突出した能力を持つ人材を発掘し、育成する「ジュニアドクター育成塾」を始める。科学技術振興機構（JST）が進める大学などとの連携事業で、本年度は山梨大が採択された。県内では初めての取り組み。

全国の小学5年～中学3年の児童生徒40人を7月中旬から募集する。9月ごろに入塾式を行ってスタートする予定。南アルプス・ユネスコエコパークを研究対象とし、現地や大学の研究施設で

**小中生「博士」
山梨大育成へ**

研究、論文作成を体験

数年間、教員や大学院生が提供する基礎科目と実験、実習に取り組む。

入塾者は教員らの個別指導を受けながら研究・論文作成が経験できる。発表会などを通して、創造性や課題設定能力、専門分野の能力を伸ばす。

山梨大は「自然環境の仕組みや自然と社会との関係の中にある課題を理解し、必要な情報をバランスよく収集、活用するための基礎的能力を身につけてもらう。科学技術の革新で次世代をけん引する人材を育てたい」としている。

2022年度事業は山梨大のほか、筑波大や東京大など9機関が採択された。1機関当たり年度ごとに上限1千万円の支援金が交付され、対象期間は最長5年間。

〈小野田洋平〉

(2022年7月5日付 山梨日日新聞 28面)

問1

「ジュニアドクター育成塾」では、どのような人材を発掘し育成しますか。

.....

問2

本年度、採択され取り組む研究対象は、何ですか。

.....

問3

科学技術分野で、何か研究したい事はありますか。自由に教えてください。

.....

.....